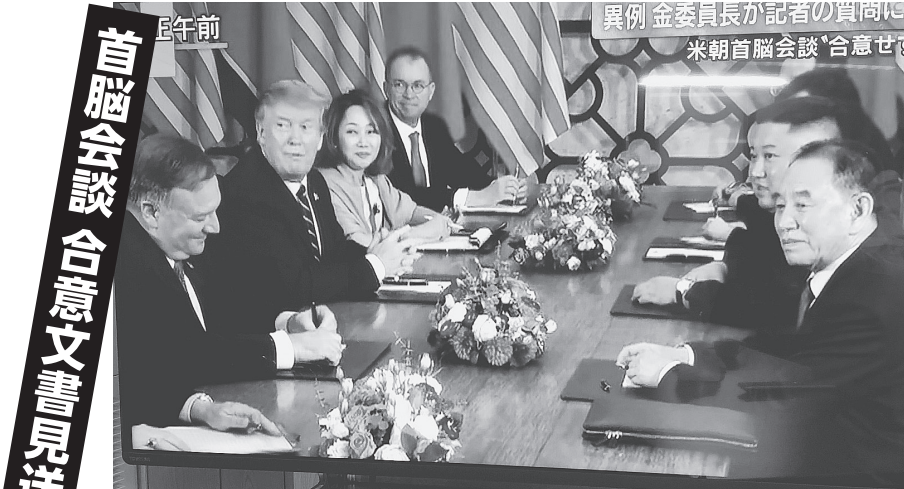


米朝対話を継続



首脳会談 合意文書見送る 平和体制・非核化へ真剣な協議を

米国のトランプ大統領と北朝鮮の金正恩労働党委員長は2月28日、ベトナムのハノイで首脳会談に臨み、昨年6月のシンガポール会談で合意した、米朝関係の改善、平和体制の構築、朝鮮半島の非核化の具体化をめぐる協議したものの、合意文書への署名は見送りました。米側の求める非核化の措置と北朝鮮の提案

に開きがあったとみられます。米側は合意には至らなかったものの、双方は対話を継続する意向だと発表しました。日本共産党の志位和夫委員長は28日、首脳会談についてのコメントで、シンガポール合意の「具体化・履行のために真剣な協議を続けることを、強く期待する」とのべています。

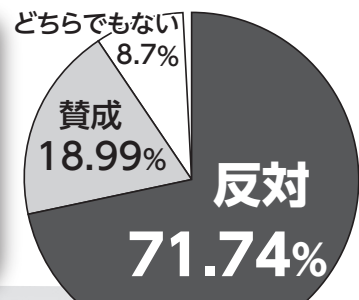
米朝首脳会談に臨むトランプ大統領（左列）と金正恩朝鮮労働党委員長（右列）。2月28日、ハノイのホテルで（28日放映のABCテレビ「報道ステーション」より）

参議院 比例代表は **日本共産党** 政党名で 制度解説
と 個人名でも投票できます

「全国はひとつ」参院比例代表で7議席をめざします

- | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|---|
| 
仁比そうへい
参議院議員
九州・沖縄 | 
山下よしき
党副委員長
参議院議員
大阪・兵庫・滋賀
奈良・和歌山 | 
井上たかし
参議院議員
東海・北陸・信越
京都 | 
しいばかずゆき
党中央委員
南関東 | 
小池あきら
党書記局長
参議院議員
東京 | 
梅村さえこ
前参議院議員
北関東 | 
紙智子
参議院議員
北海道・東北 |
|---|--|---|--|--|--|---|

新基地 人圧倒



県民投票 反対7割

沖縄県民が名護市辺野古の米軍新基地建設に明確なノーの意思を示しました。2月24日に投開票された辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票。投票率は5割を超え、「反対」は43万4273票で投票総数の約7割を占めました。

区域に深度70～90メートルの軟弱地盤が確認されており、現在の土木技術では地盤改良は不可能。普天間基地も辺野古移設を条件としている限り永久に返ってきません。玉城知事は「政府は、県民の確固たる民意を正面から受け止め、『辺野古が唯一』の方針を見直し、工事の中止を」とのべています。

辺野古では埋め立て予定

日本共産党

国は沖縄の声を聞け

県民投票の結果を受けてガンバロウを三唱する人々。2月24日、那覇市内（しんぶん赤旗「提供」）

近畿民報

2019年3月 No.1 (第357号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を公表しました。